

ゲンビ「広島ブランド」デザイン公募2019

募集期間：2019年9月13日(金)～11月12日(火)

展示期間：2020年2月8日(土)～2月24日(月・祝)

デザインの観点から広島を見つめなおす 現代美術館で形にする自由な発想のアイデアを募集

「ゲンビ『広島ブランド』デザイン公募2019」は、広島にちなんだモノ・コトにまつわるデザイン案を募集し、すぐれた作品を展覧会として紹介するオープン・プログラムです。2016年度からスタートし今回は4度目の開催になります。

広島の名産品や風土、文化をテーマとし、デザインの観点から発展させた新たな「広島ブランド」のアイデアを募集します。

既存の名産品を(再)ブランディングするような案、あるいは、新たなモノ・コトのデザインを通して、広島暮らしや物づくりから新たな魅力を引き出すような案など、そのアプローチは問いません。生活や暮らしに密接にかかわる事柄を主題としながらも、実現性や生産効率にこだわらず、広島の文化をデザインの観点から改めて問い直すような、「広島ブランド」の再構築としてのデザインアイデアを募集します。

またそれらのアイデアを「いかに見せるか」という点も重要なポイントとなります。優れたアイデアと、展示においてその魅力を効果的に提示するプランをあわせてご応募ください。

【特設サイト】 <https://www.hiroshima-moca.jp/h-brand/>

募集要項・応募用紙ほか、昨年の入選作品、審査・選考プロセス等の情報を掲載。

協賛／オリエンタルホテル広島 協力／広島商工会議所青年部

特別審査員

えぐちりか / アートディレクター、アーティスト



北海道出身。電通にてアートディレクターとして働きながら、アーティストとしても国内外で作品を発表。広告、アート、絵本、プロダクトなど様々な分野で活動中。近年の主な仕事に、ARASHI EXHIBITION “JOURNEY”、ORBIS「ディフェンセラ」やPEACH JOHNのCM・グラフィック、ベネッセこどもチャレンジbaby教材デザイン、PARCOやラフォーレ原宿などのファッション広告など。イギリスD&AD金賞、スパイクスアジア金賞、グッドデザイン賞、キッズデザイン賞、岡本太郎現代芸術賞優秀賞、JAGDA賞、他受賞。青山学院大学えぐちりからラボ教員。

ナカムラクニオ / 「6次元」店主、アートディレクター、山形ビエンナーレキュレーター



1971年、東京都目黒区生まれ。日比谷高校在学中から絵画の制作をはじめ、大学卒業後は映像ディレクターとしてCM、美術、紀行番組などを演出。NHK WORLDでは日本の文化を海外に発信する番組を手がけた。2008年にブック&ギャラリー「6次元」を荻窪にオープン。著書に『人が集まる「つなぎ場」のつくり方』『パラレルキャリア』『金継ぎ手帖』『猫思考』『村上春樹語辞典』『はじめての金継ぎBOOK』『古美術手帖』などがある。

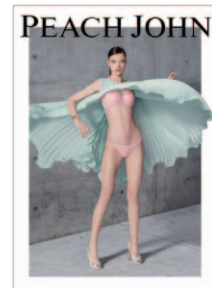
目[mé] (荒神明香 / 南川憲二) / 現代アートチーム



目は、アーティスト荒神明香(広島県出身)、ディレクター南川憲二(大阪府出身)、インストーラー増井宏文(滋賀県出身)を中心メンバーとする現代アートチーム。空間を大規模に変容させるインスタレーションなど、手法やジャンルにこだわらず、私たちを取り巻く現実世界の不確かさを実感として抱かせる作品を展開している。これまで参加した主な展覧会に、「瀬戸内国際芸術祭」、「たよりない現実、この世界の在りか」(資生堂ギャラリー)、「越後妻有アートトリエンナーレ」、「目in Beppu」、「六本木クロッシング2019展：つないでみる」(森美術館)などがある。

Photo: Takahiro Tsushima

※本展の審査は目のメンバーのうち、荒神氏と南川氏に行っていただきます。



PEACH JOHN シーズンビジュアル



本屋7次元プロジェクト



《景体》2019、「六本木クロッシング2019展：つないでみる」出展

Photo: Takahiro Tsushima

広島市現代美術館(学芸担当：鶴尾、洲濱 広報担当：立花、鈴木、国広)

〒732-0815 広島県広島市南区比治山公園1-1

TEL/ 082-264-1121(代表) FAX/ 082-264-1198

E-MAIL/ hcmca@hcmca.cf.city.hiroshima.jp WEB/www.hiroshima-moca.jp



Hiroshima MOCA
Hiroshima City Museum of Contemporary Art



応募 2019年9月13日(金)～11月12日(火) 必着

募集内容

- 広島が誇る名産、風土、文化がもたらす暮らしの豊かさを、よりいっそう高めるデザインアイデアとそのプレゼンテーションとしての展示プラン。
- 建築、プロダクト、グラフィック、ファッションなど、デザインのジャンルは問いません。
- 展示プランにおいては、イメージ図、模型、試作品、映像など、プレゼンテーションの方法は自由で、プランの内容も審査の対象となります。
- 開催期間を通して展示できるものであることを条件とします。
- 未発表の作品を対象とします。

デザインアイデアの実現性について

- 本公募はデザイン案の実現性によって審査するものではありません。(展示プランの実現性は評価の対象となります。)
- デザインの枠にとらわれない自由な発想のアイデアに期待します。

応募方法

応募用紙に必要な事項を記入し、広島市現代美術館「ゲンビ『広島ブランド』デザイン公募2019」係まで郵送または館受付まで持参してください(開館時間中)。応募用紙は特設サイトからダウンロードもしくは92円切手(10月1日以降は94円)を貼った返信用封筒を同封の上郵送にて請求してください。館内でも配布しております。

応募に関する注意

- 特設サイトに記載されている募集要項を必ず確認の上、応募してください。(募集要項は美術館でも配布)応募条件に満たない場合、審査の対象外とします。
- Eメール等によるデータでの応募は受け付けません。
- 展示プランのみの募集です。実際の作品は受け付けておりません。

審査選考・結果発表 12月25日(水) 特設サイトにて発表!

審査および入選者の発表

特別審査員と広島市現代美術館による審査を行い入選者(8名/組程度)の中から特別審査員賞(3名/組)を選出します。

- 入選:8名/組程度→金一封(10万円)とオリエンタルホテル広島・シングル1泊宿泊券(2月7日、朝食付)を授与
- 特別審査員賞:3名/組
- 観客賞:1名/組(来場者による投票。投票期間:2月8日～2月16日)

展覧会 2020年2月8日(土)～2月24日(月・祝) 入場無料

◎会場:広島市現代美術館 地下1階ミュージアムスタジオ 10:00-17:00

授賞式

■ 2020年2月8日(土) 14:00～(エントランスホール) ※どなたでも参加可能です。

スペシャルトーク

■ 2020年2月8日(土) 15:00～

特別審査員のえぐちりか氏をお迎えし開催します。

【昨年度の入選作品(一部)】

photo:Kazuhiro Uchida



藤本 聖二《一(はじめ)》

広島市は全国第3位の鋳物の生産量を誇り、また、化粧筆で知られる熊野町は書筆の一大産地でもある。そこから砂型鋳造による文鎖のコンセプトが生まれた。書の基本である「一」の文字を立体化した形には、ものごとの始まりや、初心を忘れないようにという意味が重ねられている。



熊谷 和+田代 拓也+島山 拓也
《折り鶴のチャペル》

折り鶴の紙を再生して作られる建築材料を用いたモニュメント。毎年建て直されることによって、恒久の平和が祈られる。折り鶴の折図をもとにした幾何学図形のブロックを積み上げる構造であり、軽さ、光透過性、風合いのある質感といった紙の特性を備えている。



岩竹 俊範《Setouchi Park》

牡蠣筏のモジュールに合わせた筏を組み、船で曳航可能な大きな浮舟あるいは公園のような場所を瀬戸内海の海上に出現させる。海のアクティビティを体験する場として、さらには水産資源への理解を深める場として機能することを目的としている。

◎その他の昨年度入選作品は本プログラムの特設サイトに掲載しています。

<https://www.hiroshima-moca.jp/h-brand/>